

土地利用の方向性 新旧対照表

新	旧
(2) 土地利用構想 ― ①ゾーニング及び拠点 ア 食と農と観光ゾーン 優良農地の保全を図るとともに、観光農園、<u> </u>市民農園等の交流の場を創出するなど、農業と観光産業の融合を図り、地域の活性化を促進します。 集落地は、田園と調和した集落地形態の維持や住環境の向上を図るため、地域固有の資源を<u>活</u>かし、集落環境の魅力を高めるとともに、生活道路の機能強化や災害対策等を実施します。	(2) 土地利用構想 ― ①ゾーニング及び拠点 ア 食と農と観光ゾーン 優良農地の保全を図るとともに、観光農園、<u>体験農園</u>、市民農園等の交流の場を創出するなど、農業と観光産業の融合を図り、地域の活性化を促進します。 集落地は、田園と調和した集落地形態の維持や住環境の向上を図るため、地域固有の資源を<u>生</u>かし、集落環境の魅力を高めるとともに、生活道路の機能強化や災害対策等を実施します。
ウ 健康<u> </u>福祉・農業交流ゾーン 田方福祉村周辺は、高齢者福祉・障がい者福祉の<u>拠点機能を維持し</u>ます。 深沢川流域周辺等は、丘陵地等の立地特性を<u>活</u>かした活力ある地域産業の振興を図るため、森林や農地、既存施設と連携しつつ、<u> </u>特色ある農作物の生産や環境にやさしい農業を進めます。	ウ 健康<u> </u>福祉・農業交流ゾーン 田方福祉村周辺は、高齢者福祉・障がい者福祉の<u>充実を図り</u>ます。深沢川流域周辺等は、丘陵地等の立地特性を<u>生</u>かした活力ある地域産業の振興を図るため、森林や農地、既存施設と連携しつつ、<u>観光交流や健康づくりの拠点となる施設の整備を進めるとともに、</u>特色ある農作物の生産や環境にやさしい農業を進めます。
エ 都市機能拠点／地域生活拠点 伊豆長岡駅、田京駅及び<u>温泉駅</u>の周辺は、医療・福祉・子育て支援・教育文化・商業・行政機能等の都市機能<u>を誘導</u>します。また、原木駅、葦山駅、大仁駅の周辺は、駅の利便性を<u>活</u>かした、地域生活拠点を形成します。	エ 都市機能拠点／地域生活拠点 伊豆長岡駅、田京駅の周辺は、医療・福祉・子育て支援・教育文化・商業・行政機能等の都市機能が<u>融合した都市機能拠点を形成</u>します。また、原木駅、葦山駅、大仁駅の周辺は、駅の利便性を<u>生</u>かした、地域生活拠点を形成します。
オ 医療拠点 順天堂大学医学部附属静岡病院、伊豆保健医療センターの周辺は、静岡県東部地域における医療拠点として<u>の機能を維持</u>します。	オ 医療拠点 順天堂大学医学部附属静岡病院、伊豆保健医療センターの周辺は、静岡県東部地域における医療拠点として、<u>静岡県が進めるファルマバレープロジェクトと連携し、高度医療の提供や医学・健康産業等の集積を誘導</u>します。

新	旧
カ 産業・業務__拠点 <u>インターチェンジ周辺の既存工場用地や低・未利用地等については、社会情勢や広域的な機能連携及び地域振興や経済活性化を踏まえ、新たな産業・業務を誘導します。</u> <u>また、大仁地域の国道136号周辺及び大仁南IC周辺地域については、企業の誘致や地域に密着したサービス業を誘導します。</u>	カ 産業・業務立地拠点 <u>今後の社会情勢や広域的な機能連携に配慮しつつ、必要に応じて新たな産業・業務（事務所、研修所等）用地を確保します。特に、伊豆中央道長岡北IC周辺の低・未利用地等については、地域振興や経済活性化につながる土地利用を誘導します。</u> キ 新サービス業拠点 <u>国道136号及び国道136号バイパス（修善寺道路）の大仁南IC周辺地域については、時代の変革に対応する企業の誘致や地域に密着したサービス業の集積を誘導します。</u>

<参考> 令和7年度 第2回伊豆の国市総合計画審議会（令和7年2月27日開催）時に説明・了承いただいた内容

新	旧
カ 産業・業務立地拠点 今後の社会情勢や広域的な機能連携に配慮しつつ、必要に応じて新たな産業・業務（事務所、研修所等）用地を確保します。特に、<u>大仁中央IC周辺の既存工場用地</u>、伊豆中央道長岡北IC周辺の低・未利用地等については、地域振興や経済活性化につながる土地利用を誘導します。	カ 産業・業務立地拠点 今後の社会情勢や広域的な機能連携に配慮しつつ、必要に応じて新たな産業・業務（事務所、研修所等）用地を確保します。特に伊豆中央道長岡北IC周辺の低・未利用地等については、地域振興や経済活性化につながる土地利用を誘導します。

新

旧

土地利用構想図

土地利用構想図

